

「ヘモグロビンA1c（HbA1c）」 国際標準化への対応に関するお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、HbA1cの測定値は、日本で用いられてきた「JDS値」と日本以外の多くの国々で広く用いられている「NGSP値」では差（約0.4%）があり、日本糖尿病学会（糖尿病関連検査の標準化に関する検討委員会）を中心に、この差を解消すべく検討が進められておりました。

この度、日本糖尿病学会は、厚生労働省や日本医師会・保険者団体を初めとする関係諸団体との協議のもと「日常臨床及び特定健診・保健指導におけるHbA1c国際標準化の基本方針及びHbA1c表記の運用指針」を発表いたしました。

つきましては、この国際標準化の基本方針に対応すべく、当社と致しましても下記の検査内容の変更を実施させていただきますのでご案内いたします。

弊社事情をご賢察のうえ、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

対応概要

1) 日常臨床用（特定健診・保健指導を除く汎用）

- ① NGSP値を新規受託いたします。
- ② NGSP値をご依頼されると自動的にJDS値も併記して報告いたします。
- ③ NGSP値とJDS値を併記報告致しますが、請求は、NGSP値のみとさせていただきます。

2) 特定健診・保健指導用

- ① 従来通りのJDS値を受託継続いたしますが、検査名称等は変更させていただきます。

対応実施日

平成24年4月2日(月)受託分より実施

※ 詳細は次面以降をご参照下さい。

保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

い か が く 小 田 原 衛 検
新 潟 臨 床 検 査 セ ン タ ー カ ス タ ム メ デ ィ カ ル 研 究 所
保 健 科 学 東 日 本 ケ ー ア イ エ ー 細 胞 病 理 研 究 所
日 本 ノ ー バ メ デ ィ カ ル 研 究 所 日 本 厚 生 団 衛 生 科 学 研 究 所
組 織 科 学 研 究 所 相 模 医 研
遠 州 予 防 医 学 研 究 所 湘 南 医 化 学 検 査 セ ン タ ー
東 部 メ デ ィ カ ル セ ン タ ー

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
2131 (3D046)	HbA1c(NGSP)	全血 2.0mL	J 冷蔵	酵素法	4.6~6.2 (%)	1 ~ 2	50 血液	(日常臨床用) 2077:JDS値も同時報告 致します。

▼ 検査内容

- ① 日常臨床用(特定健診・保健指導を除く汎用)のHbA1c値となります。
- ② NGSP値を依頼された場合、自動的に従来からのJDS値も併記してご報告致します。
システム等のご対応をお願いします。
- ③ NGSP値は、従来からのJDS値 5.0%~9.9%の間では 0.4%高値になります。
- ④ JDS値とNGSP値の換算式。

$$\text{NGSP値(\%)} = 1.02 \times \text{JDS値(\%)} + 0.25\%$$

$$\text{JDS値(\%)} = 0.980 \times \text{NGSP値(\%)} - 0.245\%$$

[HbA1cのJDS値とNGSP値の簡易換算表]

	HbA1c(JDS)		
	4.9%以下の場合	5.0~9.9%の場合	10.0~14.9%の場合
NGSP値(%) =	JDS値 + 0.3	JDS値 + 0.4%	JDS値 + 0.5%

- ⑤ 糖尿病の診断について
 NGSP値を用いた診断では、6.5%以上を糖尿病型とする。と発表されております。(従来JDS値を用いた診断では、6.1%以上を糖尿病型とする。)
 NGSP値とJDS値が併記されますので、項目名称によりご確認いただきます様、お願いいたします。

平成24年4月2日(月)受託分より変更

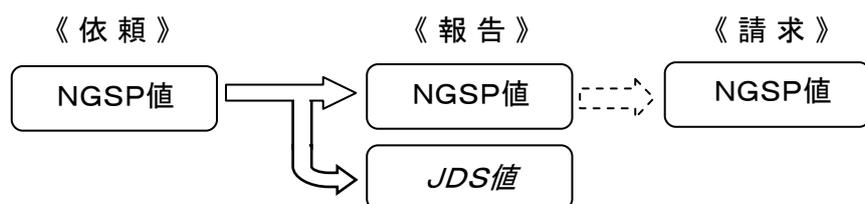
項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
2077 (3D045)	ヘモグロビンA1c (HbA1c)	項目名称	HbA1c(JDS)	ヘモグロビンA1c (HbA1c)	HbA1c国際標準化に伴う 対応のため。	3

▼ 変更内容

- ① 特定健診・保健指導用のHbA1c値となります。
- ② JDS値については、検査項目名称の変更以外は、従来からとの変更はありません。
- ③ NGSP値と区別する為、検査項目名称をHbA1c(JDS)と変更いたします。

▼ ご依頼から請求までの流れ

1) NGSP値(項目コード:2131)のご依頼の場合



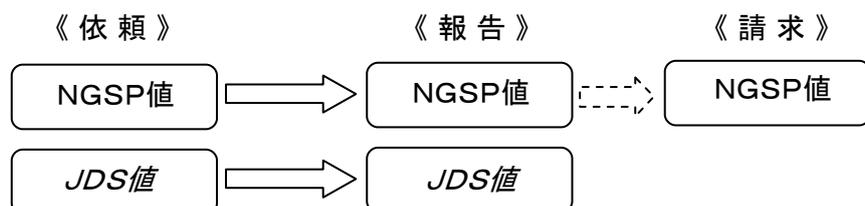
- ・NGSP値(項目コード:2131)をご依頼された場合、NGSP値の他に自動的にJDS値の依頼も追加し結果報告を実施します。
- ・請求に関しては、NGSP値のみとなります。

2) JDS値(項目コード:2077)のご依頼の場合



- ・JDS値(項目コード:2077)をご依頼された場合、結果報告及び、請求もJDS値のみとなります。

3) NGSP値(項目コード:2131)とJDS値(項目コード:2077)を同時にご依頼の場合



- ・NGSP値(項目コード:2131)とJDS値を同時にご依頼された場合、結果報告はNGSP値とJDS値の両方を実施します。
- ・請求に関しては、NGSP値のみとなります。

【2012年4月2日以降の受託要綱】

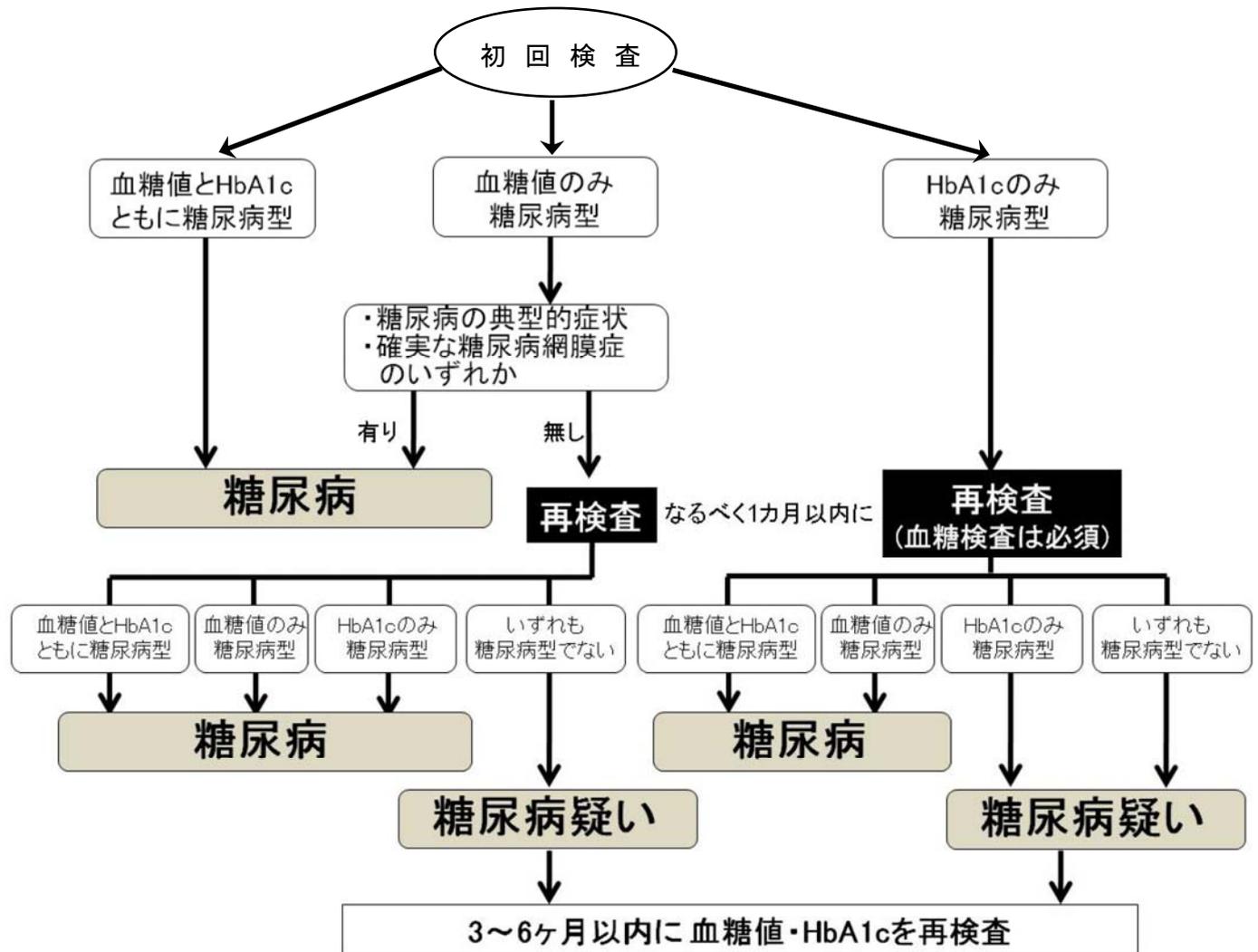
項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
2131 (3D046)	HbA1c(NGSP)	全血 2.0mL	J 冷蔵	酵素法	4.6~6.2 (%)	1 1 2	50 血液	(日常臨床用) 2077:JDS値も同時報告致します。
2077 (3D045)	HbA1c(JDS)	全血 2.0mL	J 冷蔵	酵素法	4.3~5.8 (%)	1 1 2	50 血液	(特定健診等用)

▼ 参考文献

- 日常臨床及び特定健診・保健指導におけるHbA1c国際標準化の基本方針及びHbA1c表記の運用指針
http://www.jds.or.jp/jds_or_jp0/uploads/photos/818.pdf

▼ 糖尿病の臨床診断フローチャート

- | | |
|------|--|
| 糖尿病型 | ○ 血糖値(空腹時 ≥ 126 mg/dL、OGTT2時間 ≥ 200 mg/dL、随時 ≥ 200 mg/dL) |
| | ○ HbA1c(NGSP) $\geq 6.5\%$ ← 2012年4月1日 以降の診断で用いる |
| | ○ HbA1c(JDS) $\geq 6.1\%$ |



糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告, 糖尿病 53: 458, 2010 より引用 一部改変

▼ 血糖管理の指標と評価

指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c(NGSP) (%)	6.2未満	6.2~6.9未満	6.9~7.4未満	7.4~8.4未満	8.4以上
HbA1c(JDS) (%)	5.8未満	5.8~6.5未満	6.5~7.0未満	7.0~8.0未満	8.0以上
空腹時血糖値 (mg/dL)	80~110未満	110~130未満	130~160未満		160以上
食後2時間血糖値 (mg/dL)	80~140未満	140~180未満	180~220未満		220以上

+0.4

日本糖尿病学会編:糖尿病治療ガイド2010 より引用 一部改変